

これまでの論点整理（総合計画審議会第4回～8回）

- 第4回～8回の議論を踏まえ、主要な論点及び意見概要を整理。
- 主要な論点として、「目標値の設定」、「人口シナリオ・移住定住策」、「産業分野」、「環境・エネルギー分野」、「推進エンジン」を抽出。
- これまでの議論における意見概要は、文頭に番号を記載。参考資料1の総合計画審議会委員からの意見への対応一覧とリンク。（例えば、1_4-01は、参考資料1左端の通し番号1、第4回の意見番号1。第8回の意見については通し番号なし。）

○ 目標値の設定

【目標設定の考え方】

- 1_4-01> 指標はこれからの計画の進行管理で活用される。何故この指標を立てたのか、位置付けなどを明確にすべき。
- 2_4-02> 目標値を出している意味や根拠、何故この指標なのか分かりにくい。
- 8-01> 目標値の設定の考え方も最終的に計画書に入るという整理でよいか。
- 4_4-04> 単に実施回数を目標とせず、事業を実施したことによる効果が示せるように。

【目標の体系化】

- 3_4-03> 詳細施策の目標と計画全体の目標達成の関連が分かるとよい。
- 4_4-04> 詳細施策の目標達成か、より大きい目標のこの部分に寄与するという見通しが見える、目標の階層構造で示してほしい。
- 4_4-04> 個別の施策はそこで完結してしまうので、人口シナリオやまちづくりの3目標につながることを意識してほしい。

【検証の考え方】

- 8-03> 定性的な目標であっても、どういう考えで設定したのか、成果をどのように測るのかという検証方法を示してほしい。
- 6_6-01> 今回の計画を完成版とするのではなくたたき台として位置付け、次年度以降、政策の焦点化、国施策に連動した施策の練り直しを進める、評価と政策の再形成を同時に進めることを、本計画中に明記してほしい。

【各目標値に対する意見】

- 29_4-06> 施策 1-1：多機関連携による支援件数
…指標の意味するところの明確化、件数が少ない印象。
- 30_4-07> 施策 1-4：市の審議会等への女性の参加率
…この指標で多様性を測ることができるか。
- 33_4-10> 施策 2-3：ケアプラン点検数
…目標が維持となっているがその考えは。
- 39_4-13> 施策 4-1,2：がん検診受診者数、脳血管疾患による死亡率（対人口 10 万人）
…2017 年以降で死亡者数が増加していることを踏まえた目標値の検討。
- 42_4-19> 施策 4-3：食育実践活動実施回数
…主な取組との関係、目標が意味する範囲を明確に。
- 47_4-24> 施策 6：消防・救急
…小田原で進んでいる医療や救急が市民に伝わる目標を。

- 53_4-30> 施策 6-2：消防部隊の訓練実施状況
…市民目線を考慮した目標設定を。
- 54_4-31> 施策 6-4：消防団施設の耐震化（累計）
…持続可能な消防団体制の構築に対しこの指標でよいか。
- 55_5-01> 施策 7：防災・減災
…地域ニーズを踏まえた防災・減災対策の目標値が、ブロック塀やマンホールトイレで
妥当か。
- 58_5-04> 施策 7：防災・減災
…災害軽減や災害時即応体制の強化、危機管理体制の整備に資する目標を。
- 60_5-06> 施策 7-1：危険なブロック塀の撤去数（累計）
…公共インフラの耐震化が問題となるなか指標は1つでよいか。
- 61_5-07> 施策 7-1：危険なブロック塀の撤去数（累計）
…ハードについて、市道における水道管等の大使補強や耐震診断数を設定できないか。
- 65_5-11> 施策 7-3：総合防災訓練及び地域防災訓練の参加者数
…防災士養成などを指標化（取組化）したほうがよいのでは。
- 68_4-33> 施策 8-1：刑法犯認知件数
…認知しないと件数が上がらないという問題。
- 70_4-35> 施策 9-3：市民学校修了生の担い手実践活動数（累計）
…主な取組では市民学校の運営のみ、実践活動につなげる取組は。
- 72_4-37> 施策 9-3：市民学校修了生の担い手実践活動数（累計）
…まちづくりの担い手、社会課題の解決を見据えた目標にできないか。
- 81_4-46> 施策 11-1：国語、算数・数学の授業がわかると感じている児童生徒の割合
…デジタル教育に関する目標に変更してはどうか。
- 86_4-51> 施策 11-3：教育相談件数
…子どもが減るが相談件数が増加する理由は。
- 103_6-16> 施策 13-2：展示会・見本市への出展者数
…市からの補助件数で把握することになると、限定的になるのでは。
- 104_6-17> 施策 13-3：小田原駅周辺流動客数
…どのように能動的なデータを取るか、人の流れを誘導する取組が必要。
- 107_6-20> 施策 14：農林業
…有機農業の促進や再エネの取組と合わせて目標を設定するのはどうか。
(国では、有機農業の農地拡大やスマート化の導入、農業由来の CO2 実質ゼロ等)
- 108_6-21> 施策 14-2：耕作放棄地の解消面積（累計）
…タイトルと取組方針の文章のミスマッチ。目標値の再設定を。
- 109_6-22> 施策 14-3：農作物の鳥獣被害額
…地域特性を生かした農産物の振興を前面に。あわせて指標も、地域特性を生かした
農産物の流通量や流通額はどうか。

- 111_6-24> 施策 15-2：小田原市水産市場における地魚の取扱い(卸売)金額(直近3か年平均)
…市場での取扱い総額(分母)に占める割合を明らかに。
- 120_6-33> 施策 18-2：姉妹都市・友好都市との文化交流事業実施回数
…対象となる実施主体の範囲は。
- 139_5-15> 施策 19,20：脱炭素、循環共生
…施策 19-2 か 20-1 で、再エネポテンシャル(エネルギー消費量に対する再エネによる発電ポテンシャルの比率)を掲げてはどうか。
- 144_5-20> 施策 20-2：家庭ごみにおける1人1日当たりの燃せるごみ排出量
…全国や神奈川県と比べてどうか。
- 145_5-21> 施策 20-2：家庭ごみにおける1人1日当たりの燃せるごみ排出量
…他の都県と比べてどうか。
- 147_5-23> 施策 22-2：小田原駅周辺流動客数(再掲)
…目標値と主な取組との関係性が見えない。地元と観光客を分解し、それぞれどの程度見込むといった検討は。
- 149_5-25> 施策 22-2：小田原駅周辺流動客数(再掲)
…歴まちでも指標化されている公有の歴史的建造物の来館者数がよいのでは。
- 155_5-31> 施策 24-1 路線バスの路線数(幹線)
…路線バスのスマート化の取組数を掲げた方が望ましいのでは。
- 157_5-34> 施策 25-3：企業会計における経常収支比率
…料金値上げにより市民の利益を損なう可能性があるため、見直すべき。
- 162_7-25> 施策①-1：市ホームページアクセス数
…TOP・各ページ、市内外などアクセス数の分解が必要。ページの滞在時間、動画再生件数・時間も考慮すべき。もっと効果的な目標値の検討を。
- 164_7-27> 施策①-2：行財政改革による財政効果額の目標達成率
…目標達成に向け、ふるさと応援寄付金のPRを。
- 166_7-29> 施策①-2：行財政改革による財政効果額の目標達成率
…効果額のみを目標とせず、公民連携やデジタル化の観点を入れるのはどうか。
- 169_7-32> 施策①-4：女性職員の昇任希望率(主査級及び副課長級)
…職員育成であれば性別は関係ないのでは。
- 171_7-34> 施策②-1：包括連携協定件数(累計)
…イノベーションラボのWEBサイトを開設し、そのアクセス数を指標にしてはどうか。
- 172_7-35> 施策②-1：包括連携協定件数(累計)
…イノベーションラボ関連の指標がない。①か②で指標設定できないか。
- 173_7-36> 施策②-1：包括連携協定件数(累計)
…民間提案制度についてアウトプット化するなどの見える化を。
- 174_7-37> 施策②-1：包括連携協定件数(累計)
…単なる連携ではなく何をすることが大事。件数だけでなく実質の検討を。

- 159_7-22> 施策②-2：若者・女性と市長の意見交換会の開催
…年3件では4か月に1回。頻繁な定期開催を。
- 8-05> 重点1(3)：健康寿命 男性80歳 女性85歳
…健康寿命の定義が不明確。伸ばすには行動変容が重要。
- 8-10> 重点3(1)：将来の夢を持つ児童生徒の割合100%
…基準値はコロナ前の令和元年なので、最新値の掲載を。
- 8-17> 重点4(2)：テレワークやワーケーションができる場所100か所
…多くの場所が必要か分からない。場の価値は交流ができることなので、100か所あると交流が薄まるのでは。
- 8-20> 重点4(2)：テレワークやワーケーションができる場所100か所
…戦略を持ったテレワークセンターを数か所つくる方針の方がよいのでは。
- 8-18> 重点4(3)：新規創業数累計300社
…目標達成に向け、スタートアップ環境やスタートアップイベントが重要。
- 8-19> 重点4(3)：新規創業数累計300社
…地域資源特化の方針と目標の不一致。地域資源に特化しないのであればその趣旨を、地域資源に特化するのであれば目標値を絞ることが必要。加えて実績ベースで数値を下げた理由は。
- 8-20> 重点4(3)：新規創業数累計300社
…地域資源の活用としているので、それ以外が目標値として入るのは明確でない。
- 8-22> 重点5(1)：小田原城天守閣及び観光交流センターの年間来場者数100万人
…点から面に広げていくために、歴史的風致維持形成建造物の来場者カウントなど対象を広げてはどうか。
- 8-29> 重点6(1)：再生可能エネルギー導入量5倍
…脱炭素に向け、小田原で実施しているエリアマネジメントを目標値に。

○ 人口シナリオ・移住定住策

【全般】

- 11_7-04>人口ビジョンでは、死亡増と出生減のワニの口をどう縮めるか、そのために一定の転入増を図る基本線をより明確にし、その方向に向けてどのような施策を優先的に取り組むかを明示したほうがよい。
- 12_7-05>人口ビジョンや3目標の実現に寄与する施策群が体系だって見える化されていた方がよい。
- 13_7-06>転入増加策として、移住定住支援、ふるさと納税、観光、シティプロモーション、子育て支援などの様々な施策との一体的な運用について、施策の柱の1つとして立てることがメッセージ性として重要。
- 167_7-30,168_7-31>移住定住施策やふるさと納税は重要であり、主な取組のひとつではなく施策として目立たせてはどうか。詳細施策のひとつとして立ててほしい。
- 28_7-21>「何故、人口が減ってはいけないのか」という論点も必要。全国的な人口減は止まらないので、人の取り合いになる。社会保障の観点からは人口減による利点もある。一方、活力の観点からは、都内からの社会増といったターゲット設定、広域ブロック圏での考え（2市8町から人を出さない戦略）を持つべき。
- 27_7-20>人口のグラフは全体の数字だけでなく、年齢別の数字が分かるとよい。

【取組の視点（移住定住策）】

- 67_4-32>空家の適正管理や移住者受け入れとしての活用は重要な観点。
- 151_5-27>リノベーションを行政が自前とするなど、空家活用に市が介入すべき。
- 150_5-26>都心からの居住者は賃貸の庭付一軒家を求めており、既存ストックの活用は重要で、賃貸促進の工夫が必要。
- 152_5-28>住宅困窮者のためのセーフティネットとして、市営住宅だけでなく民間の住宅ストック活用も重要。
- 153_5-29>安心して利用できる公園の整備や管理により、子育て中の遊び場の確保を。
- 19_7-12>都内からの移住者は増えているが、防犯灯・街路灯の設置に融通がきかず、都市部の方が良かったということになってしまう。柔軟な対応を。
- 18_7-11>人口は、全国的に同じ課題でありどこでも同じことをやっている。経済面からのアプローチにより、小田原で新たな会社、仕事、サービスが生まれることで人口が増えるのでは。
- 75_4-40>人口増加につなげるため、子育て世代への経済的負担の取組を実施すべき。
- 14_7-07>子育て支援策として、養育費でサポートが一番必要ではないか。
- 79_4-44>10代後半のコーホートの最大の転出要因は他地域への大学進出にある。
- 89_4-54>住居を構えるときにはどういう教育を受けられるかを考える。小田原独自の強みとして教育を打ち出せないか。

- 131_6-44> 若者に人気の e スポーツやストリートスポーツは、若者施策として移住にもつながる。
- 16_7-09> 若いファミリー層をターゲットに、住みやすいまちにするために何をすべきかを検討すべき。
- 20_7-13> 20～30 代前半は、行政が何をしているかより、街並みがきれい、住まいが安いかなどで住む場所を判断することが多い。きれいな商業施設や休日の過ごし方も判断材料になる。
- 13_7-06> 移住者が移住者を呼ぶ自律的な好循環に達するまでは、地道に積み重ねる必要がある。
- 17_7-10> 移住定住については、地元の方の理解、受け入れの気持ちの底上げが必要。
- 24_7-17> 移住定住の効果はこれまで年間数百のスケール感だが、これを数千単位にしないと人口を±0 にできない。このアプローチをどう考えるか。職場をつくることは王道で、同時にテレワークや 2 地域居住なども人を呼ぶ好循環には大事。また、市民自身がプロモーターになるという視点も大事。

【取組の視点（死亡減・健康づくり）】

- 15_7-08> 死亡減については、塩分摂取が多いことに注意が必要。
- 21_7-14> 健康づくりは、若年層もできる健康づくりの取組が必要。
- 24_7-17> 健康づくりは、下地として重要な視点。特定の疾病で亡くなる方が多いなか、中長期的な取組も必要だが、目の前の課題にアプローチして、ターゲットを絞りこむことも効果的。

【取組の視点（プロモーション）】

- 22_7-15> 移住定住の取組についてもプロモーションの打ち出しをしっかりと位置付けた方がよい。一度出ていった子どもたちに帰ってきてもらえる取組も重要。
- 23_7-16> 小田原というブランドが既にあるが、その強みを生かし切れしていない。組織的に移住定住施策を実施するとともに、子育て施策について市民が知らないなので、もっと PR が必要。
- 25_7-18> 小田原で移住定住を受け入れているメッセージが首都圏の人に伝わっていない。ターゲットを絞ったプロモーションを。
- 26_7-19> 空家が多いが物件化されていないので、不動産情報に掲載されるような動きが必要。加えて、自分がそこに住むと何が楽しめるかという情報の発信も必要。

○ 産業分野

【産業の考え方】

- 91_6-04>全体ビジョンとして産業をどう捉えるかという全体像を定義づけるべき。施策 12 「働く場・働き方」も、産業政策や産業の活性化を捉えて施策名の変更を。
- 93_6-06>産業をつくることで働く場ができる。根本的な概念のところで施策 12 の見出しの変更と、産業振興についての項目出しを。
- 90_6-03>「働く場」の定義の食い違いがあるのでは。「働く場」を働く機会、雇用全般と捉えるか、文字通り「働く場」と捉えるか。施策 12-1「企業誘致による働く場の創出」は、企業誘致やサテライトオフィス誘致双方をにらんでいるのであれば、「多様な働く場の創出」としてはどうか。
- 92_6-05>施策体系は単なる 25 の羅列であり、25 の施策については分類しないということが良いか。産業政策の頭が施策 12 という形なのか、そもそも立ち位置が明確ではない。
- 96_6-09>施策 12 に関しては様々な意見がでており、再検討を。
- 94_6-07>産業政策の土台をしっかりと持ったうえで、何のためのテレワークかを考える必要がある。
- 91_6-04>民間企業が事業活動をしやすい環境づくりの視点での書き込みが必要。

【取組の視点（働く場・働き方）】

- 95_6-08>一般的に高齢化に関する記載がない。高齢化により労働人口が減少していくなか、定年延長、シルバービジネス、高齢者への対応についての論点を加えてはどうか。
- 95_6-08>新しいビジネスや働く場がコミュニティの中に降りてくることを考えると、シェアリングビジネスのための規制緩和等が必要になる。
- 97_6-10>新しい働き方の場所の提供だけではなく、その場所に行くことの付加価値を踏まえた検討を。
- 98_6-11>新しい働き方としてどういう状態を築こうとしているのかの前提がないと、取組が目的に資するものか判断できない。新しい働き方の中身を描いてほしい。
- 98_6-11,99_6-12>ワークプレイスマーケットは、どういう人々が集うことを想定しているのか。ターゲットがよく分からない。
- 100_6-13>小田原は育児休暇取得の男性が少ないと感じる。性別に関係なく必要な時に休暇が取れる働き方ができるといった視点を書き込むべき。
- 102_6-15>中小企業支援等に対して DX の視点を踏まえてほしい。DX の部分もきっちりとサポートしていく中小企業支援を。
- 124_6-37>世界では、図書館が、創業や新たなデザイナーを生むような産業のエンジンや情報センターとしての位置付けになっている。広い視点で図書館像を描いてほしい。
- 8-17>コワーキングスペースの価値は、その場で交流ができること。100 か所もあるとその交流に関する部分が薄まる。

- 8-18>新規創業 300 社の達成に向けては、スタートアップ環境やスタートアップイベントが重要で、具体のアクションにこういう視点があればよい。
- 8-19>…地域資源特化の方針と目標の不一致。地域資源に特化しないのであればその趣旨を、地域資源に特化するのであれば目標値を絞ることが必要。
- 8-20>重点施策 4(3)は、今まで通りの創業のイメージしか見えてこない。環境分野、デジタル化、IoT、AI のような新たな概念の創業、サプライチェーンの展開、シェアリングエコノミー、サーキュラーエコノミーなど新たなビジネス要素が出てきている。ワクワクして多様な働き方や創業ができるという下地が見えるような記載を。
- 8-20>金融機関を含めた地元での創業ファンドのように、お金がついてくる仕組みをつくることで創業は動き出すが、具体的な戦略が見えてこない。
- 8-20>小田原市全体で創業を促したいという気持ちが見える文章に。現状ではワクワク感が見えず、創業を後押しするという姿勢も見えてこない。
- 8-21>経済はディテールが重要。ひとつひとつの積み重ねで産業は動く。様々な確度から産業を起こせるような具体的戦略をつくるべき。

○ 環境・エネルギー分野

【環境関連施策の体系】

- 140_5-16> 施策 20「循環共生」の言葉は一般的ではない。何を循環させ、何と共生するのが分からない。施策 20-2、-3 はごみ関連で、資源循環として捉えているが、施策 21 に 20-1 の地域循環共生圏を移し、施策 20 の名称を「資源循環・美化の推進」にすべき。施策 20-2、-3 と施策 21-4 環境美化で構成してはどうか。

【取組の視点】

- 137_5-13> 気候変動の緩和策には触れているが、適応策は記載がない。施策 7 の防災・減災でもハード整備のみとなっている。グリーンインフラ整備や、気候変動による農産物や漁獲資源への影響も踏まえ、適応策の記述を充実させるべき。
- 138_5-14> 世界が一丸となって進める脱炭素など最重要の個別課題に先駆的に取り組むことが不可欠。先進的な取組を行っているのですから、検討中の取組であっても計画書に記載し、先行モデルの構築について具体的なイメージができるように。
- 141_5-17> 資源循環について、目指す方向性や理念を打ち出せないか。サーキュラーエコノミーの考え方をもっと打ち出してほしい。
- 142_5-18> 施策 20 に関連して、ごみ屋敷問題についての取組を記載しなくてよいか。ごみだけではなく、循環や衛生の問題もある。
- 143_5-19> 食品ロスの削減と生ごみの資源化を一緒に表現するのは違うのではないか。食口は食べられるのに捨ててしまう食品、生ごみは食べられない部分を廃棄する。
- 146_5-22> 生物多様性の概念を打ち出したうえで、有害鳥獣対策の実施という流れにしてはどうか。
- 148_5-24> 豊かな自然的景観を維持・保全し、魅力として発信することで、人々に来ていただく視点が必要。自然的景観については、施策 22 では記載がないが、景観を幅広い意味で捉えてほしい。
- 8-27> 重点施策 6(1)再生可能エネルギーの導入促進において、今後の地球温暖化対策実行計画で求められる、再エネ導入目標の設定、促進区域指定等の作業が可能となる工程表としてほしい。
- 8-28> 再エネ導入促進については、自然環境や住環境への配慮や、それらとの両立といった要素を記載してほしい。
- 8-29> 脱炭素に向け、小田原ではエリアマネジメントを実施しているので、この辺りを目標値とし、脱炭素に向けエリアマネジメントをしていることが分かるような示し方をすればよいのでは。
- 57_5-03> 災害発生時のエネルギー確保について、有事の際も「ここのエネルギーは確保する」など計画的に実施することが必要。

○ 推進エンジン

【全般】

- 9_7-02>推進エンジンの①②③はそれぞれ関連する。一番の目的は行政経営の改革で、その手段としてデジタルがあり、内容を推進する人として若者や女性かがいて、方法として公民連携があるという位置付けと捉えているが、別々の施策として立てていることに違和感がある。
- 10_7-03>行政経営の全ての施策にデジタルまちづくりは関連していく。例えば、市民との情報共有についても、デジタル化で情報をどのように提供するか、行政運営のなかでもデジタル化でどのように効率化できるか、人材についてのデジタル人材は必要になってくる。別建てになっているが一緒に考えるべき。
- 166_7-29>行政改革で財政効果額を上げるためには公民連携やデジタル化も手段のひとつ。
- 8_7-01>推進エンジンに関して、これまでの施策・詳細施策の議論で、推進エンジンに書き込みますという答えが複数あったと記憶しており、それが推進エンジンに盛られているかを再度確認してほしい。

【スーパーシティ】

- 9_7-02>スーパーシティは、デジタルで行政を変えていくというもの。そこへ向かうためにもどうやって行政経営していくのか。
- 177_7-40>スーパーシティではまちづくりの観点を見失うことなく、あくまでも住民主体で。個人情報流出を懸念する声もあり単なる監視社会になることは避けるべき。市民一人ひとりが守られ、幸せな未来につながることを期待。
- 178_7-41>地域の課題解決では規制がネック。スーパーシティに採択されなかったとしても規制緩和はできるので、その姿勢を記載してほしい。
- 179_7-42>小田原のイノベーションは幅広くすべき。参考資料では様々な取組の記載があるが、2030年に向けて何か企業が集中するというものなのか。どんなビジョンを持っているのか。今後、海外や東京のコンサルティングサービス等を活用すると思うが、大事なのはどうやって小田原で開発し、成長するかではないか。
- 180_7-43>スーパーシティについて、参考資料で示された内容が施策③に記載されていない。他の場所でカバーされているのか。

【デジタルまちづくり】

- 45_4-22>施策 5-1 地域医療連携の推進
地域の基幹病院と開業医等との DX サービスをどのように捉えているのか。
- 46_4-23>施策 5-1 地域医療連携の推進
医福連携は、医療と福祉の境が曖昧になっているが、DX を活用していく考えは。

- 56_5-02>施策 7 防災・減災
防災とデジタル化をセットで考える必要がある。津波の発生シナリオや、地層の形の把握などはデジタル化により可能。
- 102_6-15>施策 12-4 変化に対応した中小企業支援
中小企業支援等に対して DX の視点を踏まえてほしい。DX の部分もきっちりとサポートをしていく中小企業支援、産業支援を。
- 122_6-35>施策 18-3 図書館サービスの充実
他市町村では、ビジネスやライフスタイルの深堀に対する知識提供を通じて、起業・創業支援、移住・定住促進の拠点として図書館を位置付けている。
- 154_5-30>施策 24-1 交通ネットワークの構築
交通について IoT 技術を活用する予定はあるか。
- 155_5-31>施策 24-1 交通ネットワークの構築
路線バスについて、スマートバス停の導入、ダイヤ改正のスマート化、位置情報の確認等、スマート化にも様々な手法があり、取組やすいのではないか。
- 158_5-33>施策 25 上下水道
下水道について IoT 技術を活用する予定はあるか。
- 176_7-39>施策 3-③ スーパーシティの実現
中学校でのデジタル科目について、正しい使い方、保護者、学校、システムによる利用制限などをしっかりする必要がある。
- 181_7-44>施策 3 デジタルまちづくり
デジタル化による健康被害も想定される。ケアなどの政策もあると思うので、計画に記載する方がよいのでは。
- 8-07>重点 2 防災・減災
防災分野の取組について、公民連携やデジタル化についての考えがない。具体的な施策を明示すべき。
- 8-08>重点 2(1) 地域国土強靱化の推進
防災情報システムの開発について、市民に漏らさず情報提供することは既存の SNS 等の活用でも可能ではないか。